

最新鋭低被ばく機能搭載血管造影検査装置を導入致しました

当院では平成 29 年 9 月に既存の血管撮影装置の更新に伴い、北海道初となるフィリップス社製（オランダ）最新型バイプレーン（2管球）血管撮影装置「Allura Clarity FD20/15」を導入しました。

今回導入した血管造影撮影装置は、画像信号をデジタルで受信するフラットパネルディテクターシステムが搭載されており、デジタルシステムなので画像の劣化もなく、微小な病変や細かい血管を鮮明に映し出すことができ、被ばく量も従来装置と比べ最大 80%の被ばく低減を実現しています。

Allura Clarity の大きな特長

- 画質を損なうことなく少ないX線量で検査を行うことができ、患者さんや術者の被ばくを最大 80%（フィリップス社製従来型装置と比較して、検査部位により異なる）減らすことができる。
- 2方向を同時に撮影できるため、使用する造影剤の量を減らすことができ、検査時間も短縮できる。
- フラットパネルディテクタの解像度が従来型装置と比較して4倍高いため、より質の高い画像を提供することができる。
- 回転DSA、コーンビームCT、各種解析ソフト等の最先端の治療に対応する機能を有している。



脳血管

頭部3次元血管像

頭部治療後画像

冠動脈